

団体名 社会福祉法人狛江市社会福祉協議会

【情報収集・発信機能について】

**情報の内容**

ボランティア・市民活動の推進・支援のための情報は、ニーズや課題に関する情報と社会資源に関する情報に大別できます。

ニーズや課題に関する情報は、個人に関するもの（話し相手、介助等）、団体・組織に関するもの（運営、経営等）、地域や社会に関するもの（国際交流、環境問題、災害等）があります。

社会資源に関する情報は、人的情報（他者や地域、社会のために役立ちたいという人や組織、知識、活動等）、物的情報（活用できる器具器材、会場等）、資金情報（助成金、寄付等）があります。特に人的情報としては、これまでの繋がりを活かした、市内外の市民活動団体、他地区のボランティア・市民活動支援センター、大学のボランティアセンターや、町会自治会等地縁組織の情報、公的機関が発信する市民活動に関する情報があります。

市民活動支援センターは、これらの情報を積極的に集め、適切に発信する役割があります。

**情報の収集**

市民活動支援センターが行う情報収集は、窓口での相談やアウトリーチ、既存のネットワークからなど、広範な方法で積極的に収集することを基本とします。

集めた情報は、市民や団体が情報収集しやすいよう適切に分類・整理してストックし、公開します。

市民活動に関する情報拠点としての認知と実績を高めていきながら、必要な情報が集まる仕組みをつくります。

**情報の発信**

市民活動支援センターで整理・分類した情報は、主にインターネットや広報誌等を活用して多くの人に伝えるやり方と、日常的な関わりの中で把握している、個人や団体それぞれが求める情報を個別に伝えていく方法があり、両者を駆使し、日々更新されていく情報の拠点機能を果たします。

発信手段は、インターネットを活用したホームページやメール（メーリングリスト）、実際に手に取って見ることのできる情報誌やチラシ、展示スペースを活用したポスターなど、これらの媒体を広く駆使して発信していきます。

情報の発信は、スタッフが行うことを基本としますが、市民活動の主体性を重視し、活動者（団体）、活動希望者が自由に情報のやり取りができる仕組みとして、インターネット環境を構築します。

<様式5>